



令和五年春季例祭

ささりんどう

令和五年六月
創刊号

発行所
靈山神社

福島県伊達市靈山町
大石字古屋館1番地
TEL (024) 587-1326

ご挨拶



宮司 古積 義永

この度、神社本庁よりの命を受け、令和五年四月一日付をもちまして、宮司を拜命いたしました、古積義永と申します。

皆さまご存じのように、この靈山神社は「大日本者は神国也。天祖はじめて基をひらき、日神ながく統を伝へ給ふ。我国のみ此事あり。異朝には其たぐひなし。此故に神国といふなり」という言葉で始まります『神皇正統記』をお書きになられた北畠親房公を始め、北畠顕家公、北畠顕信公、北畠守親公をお祀りする、旧別格官幣社でございます。皇室の尊厳を護持し、天皇による統治の無窮性を中心とする日本国家の「本来性」を明確にされた、大変畏れ多い御祭神でございます。

このように格式の高い靈山神社宮司を永年お務めになられました、前宮司の足立正之様のお人柄や研究熱心なお姿は、若輩者のわたくしにとりまして、大きくて遠い背中がございます。その背中を負いながら、靈山神社宮司の名に恥じぬよう、三月まで宮司代務者をお務めでいらした足立光枝様のお力をお借りしながら

精進して参る所存でございます。

わたくしは梁川町の白根に生まれ、梁川高等学校を卒業後、鹽竈神社の養成所で神職資格を取得いたしました。いわきの金刀比羅神社に二年間お世話になり、その後、國學院大學文学部神道学科に入学し、東京易占学院にて、占いの勉強をいたしました後、三十歳で梁川町に戻って参りました。このまま白根の神社を護りながら人生を終えるものと思っておりましたが、まさかこのような命を受けることになろうとは、夢にも思いませんでした。

お話を頂戴いたしました時には、大変悩みましたけれども、福島県神社庁長 丹治正博様から「人生で一番しあわせなことは、人から頼りにされること、そして期待に応えようと努力する事、これに尽きる。その意味で人生意気に感じて頑張れ」という励ましのお言葉を賜り、決意を固めたところでございます。

わたくしごとで恐縮ではございますが、本年還暦を迎えました。第二の人生を、靈山の方々と共に、一步一步、丁寧に歩んで参りたいと存じます。何より、氏子崇敬者の皆さまからのご協力なくして、務めることは叶いません。精一杯務めて参りますので、末永くよろしくお願ひ申し上げます。



靈山神社は宮司の本務神社となりませんが、それに伴いまして十七社の神社を兼務することとなりました。(合計十八社)

それぞれの神社に、それぞれの神様をお祀りしておりますので、お祭りやお祓い等一つ一つ大切にして参りたいと思います。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



本務神社

靈山神社(靈山町大石)

兼務神社

- 貴布禰神社(靈山町大石)
- 巖島神社(靈山町大石)
- 稲荷神社(靈山町大石)
- 愛宕神社(靈山町大石)
- 天神社(靈山町泉原)
- 神明神社(靈山町中川)
- 水雲神社(靈山町中川)
- 神明神社(靈山町泉原)
- 稲荷神社(靈山町中川)
- 愛宕神社(靈山町大石)
- 瀧野神社(梁川町白根)
- 三吉神社(梁川町白根)
- 神明社(梁川町白根)
- 日吉神社(梁川町白根)
- 南瀧野神社(梁川町白根)
- 雷神社(梁川町白根)
- 八雲神社(丸森町筆甫)

以上十七社

なつもうで
夏詣のご案内

夏越大祓式 六月三十日 午後三時

我々日本人は大晦日に「師走大祓」で一年の罪穢れを祓い清め、翌日の元日は新しい年の始まりとして、その年の平穏を願う神社に詣でる「初詣」を行います。

その始まりから六ヶ月、同じく罪穢れを祓い清める「夏越大祓」にて、過ぎし半年の無事を感謝し来る半年の更なる平穏を願うべく、神社に詣でます。

この習慣を「夏詣」と称して、我が国の守り伝えるべき風習となるよう、共に育てていきたいと思っております。

六月二十九日に総代の皆さまが境内に茅の輪を作ってくださいます。三十日の夏越大祓式はどなたでも参列いただけますので是非お参り下さい。

